

## 11. 茨城県教育研究連盟との連携活動

「茨城県教育研究連盟」は、茨城大学、茨城県教育会、茨城県教育研究会、茨城県教職員組合など教育関係諸団体によって組織されたている。茨城県の教育実践・研究の活性化・深化・発展のため、年1回の研究集会開催を軸に、教育実践に関わる諸情報の収集・蓄積等の諸活動を行ってきた。茨城大学教育学部長が連盟の「会長」を務め、全学教職センター長が「事務局長」を務めている。本年度の活動は以下の通りである。

- 第1回幹事会 令和5年5月10日（水）
  - ・令和4年度事業・会計決算報告、令和5年度事業計画、予算案審議 等
- 第1回評議員会 令和5年5月24日（水）
  - ・同上
- （学内）研究集会助言者の推薦
  - ・各分科会の助言者を教育学部教員から選出、推薦
- 研究集会助言者・司会者打合せ会 令和5年10月4日（水）
  - ・「研究討議資料」の作成、研究集会当日の運営について協議 等
- 第68回研究集会 令和5年11月18日（土）
- 第2回幹事会 令和5年12月1日（金）
  - ・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画 等
- 研究集会助言者打合せ会 令和6年1月16日（火）
  - ・研究集会の総括、次期「研究推進資料」の作成について 等
- 第2回評議員会 令和6年1月18日（木）
  - ・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画 等

上記の諸会議は全てオンライン（ZOOM）によって行われ、また研究集会もオンライン開催となった。研究集会は、本年度で通算第68回を数えたことになるが、2019年度は台風のため、2020年度はコロナウィルス流行によりそれぞれ開催を断念、2021年度・2022年度は実践報告レポートおよび助言者によるコメントをWEB上に公開する形での開催、という経緯を経て、オンラインではあるが、実に5年ぶりに、リアルタイムに発表を聴き、討議を行うという形での開催となった。上記の通り、茨城大学から教育学部教員が21の分科会それぞれにおいて助言者を務めた。参加人数はかつての対面開催時のピークの人数には及ばないものの、発表者の実践報告に基づき、それぞれの分科会で参加者・司会者・助言者が議論を取り交わし、日々の教育実践を見直す機会となった。